国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 23 年 5 月 27 日
国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
（電話 03-5572-0233）

第 35 回インドネシア石油協会での最優秀ブース賞の受賞について（お知らせ）

2011 年 5 月 18～20 日の日程でインドネシア共和国・ジャカルタにて開催された第 35 回インドネシア石油協会（IPA : Indonesian Petroleum Association）主催の年次カンファレンスおよび併催展示会において、当社の展示ブースが「最優秀ブース賞（50m²以上のブース部門）」を受賞したことをお知らせします。

今回の最優秀ブース賞により、当社は昨年、一昨年に続く 3 年連続の受賞となりましたが、これは IPA において初のケースであり、インドネシアにおいて 1966 年より長年にわたりインドネシア関係者及び関係会社の皆様のご理解やご協力のもと活動をしてきた当社にとって栄えある受賞となりました。

当社のブースデザインについては、当社がオペレーターとして 90%の権益を保有するマセラ鉱区アバディプロジェクト（洋上 LNG（液化天然ガス）開発計画）推進において関わりの深いマルク州タニンバルのモチーフを取り入れることにより同州との良好な関係をアピールすることができたこと、また、ブーステーマについては、“Abadi LNG Project : Energy for a Bright Future in Indonesia” と掲げ、同プロジェクトがインドネシアの未来に大きく貢献できることをブースに訪れたインドネシアの皆様に広く理解して頂いたことが評価されたと考えております。

IPA とは、インドネシアで活動する内外の石油会社、政府関係機関、石油開発作業のサブコントラクターなど 100 以上の企業・団体が一堂に会して開催されるインドネシア石油産業に関する最大級のカンファレンスおよび併催展示会です。今回は全体で 9,500 名以上の来場者があり、ブース出展企業も 150 社以上と例年以上に活況を呈していました。なお、展示会の全体プログラムの一環として主催者が地元インドネシアの学生約 1,500 名を招待しており、当社ブースでは約 100 名の学生の受け入れ協力を実施し、この産業の次世代を担う学生に石油・天然ガス開発の魅力を発信しました。

インドネシアは、当社の事業活動の中核的地位を占めます。アバディプロジェクトや 50%の権益を保有して原油・天然ガスの開発・生産事業を実施している東カリマンタンマハカム沖鉱区など、当社は合計 10 鉱区にて探鉱・開発・生産事業を展開しております。

以上

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

当社ブースを訪問された
インドネシア ブディオノ副大統領
（左から二人目）

IPA クロージングセレモニーにおける
最優秀ブース賞 授与式
（中央左）：ダルウィン エネルギー鉱物資源相
（中央右）：当社菅谷インドネシア総代表

当社ブース

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

当社ブース内プレゼンテーション

マルク州タニンバルのモチーフ